

各 位

2006年11月22日
シンバイオ製薬株式会社
代表取締役社長 吉田文紀

シンバイオ製薬が株式公開の主幹事証券会社を決定
非ホジキンリンパ腫を対象としてベンダムスチンの投与開始

当社は2008年に株式公開をめざしておりますが、10月31日の当社取締役会にて、株式公開主幹事証券会社を野村證券株式会社とすることに決定致し、本日、同社より、正式に主幹事会社の引受けをいただきました。今後、パイプラインの拡充、より一層の開発体制の強化、内部統制システムの構築など社内体制を整備し、一日も早く株式公開するにふさわしい企業になるべく努力してゆく所存でございます。

当社は昨年12月にAstellas Pharma GmbH(アステラス製薬株式会社(本社:東京)のドイツ子会社、本社:ドイツ・ミュンヘン、以下「アステラス ファーマ GmbH」)とライセンス契約を締結し、抗癌剤 Bendamustine Hydrochloride(日本での開発記号 SyB L-0501以下「ベンダムスチン」)の臨床試験の準備を進めてまいりましたが、8月より第 相試験を開始し、11月1日に患者さんへの投与が始まりました。

「ベンダムスチン」はドイツにおいて既に低悪性度非ホジキンリンパ腫、多発性骨髄腫及び慢性リンパ性白血病の治療薬としてリボムスチンの商標で長年にわたり使われております。北米においてはバイオベンチャーのセファロン社が、アステラス ファーマ GmbHからライセンス供与を受けて、リツキシマブ無効・再発の低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫を対象とした開発を行っており、現在第 相臨床試験が進行中。また、同時に、米国において現在、低悪性度非ホジキンリンパ腫の第一選択薬であるリツキシマブとの併用試験も実施されており、6月開催されたASCO(米国臨床腫瘍学会)では第 相試験の結果が発表され、高い有効率が示されております。

シンバイオ製薬は2005年3月25日に設立されて以来、90社を超すバイオベンチャー・製薬企業と導入交渉を進めてきましたが、その中で76品目について守秘義務契約を結び、さらに6品目に絞り現在交渉中で、近々、開発品目第2号が決まる見通し。シンバイオ製薬は、今後も、特に 癌、血液、自己免疫疾患を重点領域として、患者数が少ない疾患のための治療薬の開発において、患者さんの声を真摯に受け止め、満たされない医療ニーズに応えることを事業目的に展開していきます。

[会社概要]

シンバイオ製薬株式会社

シンバイオ製薬株式会社は、前アムジェン社本社副社長でアムジェン株式会社を創業した前社長の吉田文紀が 2005 年 3 月に設立した医薬品企業です。

経営理念は「共創・共生」(共に創り、共に生きる)で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としております。

[本件に関するお問い合わせ先]

シンバイオ製薬株式会社

取締役・執行役員・CFO 工藤 郁哉

Tel: +81 (0) 3 5472 1125

E-mail: ikudo@symbiosis.co.jp

URL: <http://www.symbiosis.co.jp>